

女伏

白秋全集
14

詩歌ノ一ト
2

白秋全集 14

第一六回配本(第I期一、二四卷)

一九八六年三月五日 発行

定価三六〇〇円

著 者 北 原 白 秋

発 行 者 緑 川 亨

〒101 東京都千代田区一ツ橋二丁目五番五
発行所 株式会社 岩波書店

電話 〇三・五五五・四二二
振替東京六二六四

落丁本・乱丁本はお取替いたします

凡 例

本全集の13巻と14巻の二冊には、白秋自筆のノートを写真版で収めることにした。すでに13巻には、第一詩集『邪宗門』および第二詩集『思ひ出』と密接な関係のあるノート六冊を、すべてほぼ原形のまま収めた。

本巻には、白秋みずから『白秋小品』の「自序」などで「黒い皮ノート」(「黒ノート」と呼んで言及している黒い皮装の手帳二冊を「黒い皮ノート」1・2、主として第一歌集『桐の花』にかかわるノート九冊を「桐の花ノート」1・2・9、さらに三崎時代から麻布時代にかけて使われたノート一一冊を「三崎ノート」1・11と仮に名づけて、合計二二冊を収録した。

ただし、『桐の花』にかかわるノート九冊については、13巻に収めた『邪宗門』『思ひ出』に関連するノートと同じ扱いとし、出来る限り省略をせず(スケッチの同じ図形のものなどは省略した)、その全貌の再現に努めたが、他のノートについては、紙幅の関係上、その資料的価値、創作のプロセスを考慮し、選択して示すことにした。

この二二冊のノートの寸法、あるいは書かれた文字の大きさや読みとり易さはノートによって違うため、写真版の縮尺をノートによって変え(ノートのページによって変えた所も一部ある)、判読できる大きさに作成した。

本巻使用上の便宜のため、次のような簡単な注記(ネーム)を付した。

1 洋数字で原ノートの丁数を示し、その表ページを片かな「オ」、裏を「ウ」で示した。

(例) 「3オ」 原ノートの3丁めの表(通しページでは5ページにあたる)

「4ウ」 原ノートの4丁めの裏(通しページでは8ページにあたる)

2 詩稿(および散文作品の草稿)については、13巻と同様、完成作品との関連を示し、次の白秋の単行本などは略記号で示した。

『思ひ出』は㊦、『東京景物詩及其他』は㊧、『雪と花火』は㊨、『真珠抄』は㊩、『白金之独楽』は㊪、『烟の祭』は㊫、『桐の花』は㊬、『雲母集』は㊭。

イ 同一の作品の草稿がそのノートの中に何種類か書かれている場合には、A、B、C……で区別した。

(例) ㊮ 「棗の樹」の草稿B

右は「桐の花ノート4」の「3ウ」「4オ」の注記である。「3ウ」から「4オ」に書かれた詩が『雪と花火』所収の「棗の樹」の草稿であり、同じノートのそれ以前のページに同作品の別の草稿(A)があることを示している。

ロ 単行本に収められるに先立ち、雑誌等に一度発表され、本全集の「初出(雑誌・新聞)」の項に収録されている場合には、〈初出〉の記号を用い、その下に発表年月を示した。〈初出〉事項は「草稿A」の所にのみ掲げた。

(例) ㊯ 「棗の樹」の草稿A(〈初出〉大正元・一〇)

右は「桐の花ノート4」の「2ウ」「3オ」の注記である。「2ウ」から「3オ」に書かれた詩は、単行本収録に先立ち、大正元年一〇月に同題で雑誌に発表されており、本全集「初出」の項に見出されることを示している。

該当する完成作品が、白秋の単行本にも、本全集「初出」の項にも見出せない場合は、単に「詩稿」

として、その下に題名を記した(題名の書かれていない詩稿は、その書き出しの一部を「われはただ……」のように示して題名の代りとした)。

3 歌稿については、完成作品との対応関係の決定が困難で、またその表示が煩瑣にわたるため、雑誌・新聞等に発表された作品との関連を示すことにし、単行本との関連注記は特に必要なもののみにとどめた。

イ 一連の歌稿が、テーマやまとめ方などからみて発表作品の原初形と思われる場合は、直接対応する歌の多少にかかわらず、その草稿とみなした。

(例) 「文章世界」(明治44・10)発表の「病院より」の草稿

右は「桐の花ノート1」の「2オ」の注記である。「2オ」に書かれた一連の歌は、その後同ノートの「2ウ」から「8オ」、「12ウ」から「23オ」、さらに「24ウ」から「25ウ」にかけて何度か推敲され、新たな歌をつけ加えつつ、発表形に近づいていく。

ロ 一連の歌稿の中に、発表された歌が一、二見られるが、発表の際のまとめ方、発表時期などからみて、全体として関連が薄いと思われる場合には次のように注記した。

(例) 歌稿 二首目は「もののあはれ」と題して「スバル」(明治42・5)に発表。

一連の歌稿の中に雑誌・新聞等に発表された歌が見出せない場合には、単に「歌稿」とし、題名のあたるものはその下に記した。

4 注記にあたっては、ノートの抹消部分も対象とし、他と区別せずに取り扱った。

凡例

黒い皮ノート

黒い皮ノート

[illegible][illegible]

桐の花ノト

桐の花ノト

桐の花ノト

桐の花ノート

桐の花ノト

桐の花ノト

桐の花ノト

桐の花ノート

桐の花ノト

8	7	6	5	4	3	2	1
.	.	.	.	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.	.
一 九 三	一 七 五	一 六	一 五 五	一 四	一 八	八	五

桐の花ノート 9 三三

三崎ノート

三崎ノート 1 三九

三崎ノート 2 三六

三崎ノート 3 三九

三崎ノート 4 二八

三崎ノート 5 三一

三崎ノート 6 三三

三崎ノート 7 三五

三崎ノート 8 三八

三崎ノート 9 三四

三崎ノート 10 三七

三崎ノート 11 四四

後記 四五

黒い皮ノート

楊王生之妻、華子不食、曰、おかなし、夫、牛馬の如く

[illegible]

[42]

同つづき ○△の記号、抹消の線のみ鉛筆書き 作品数合計の「200」の文字は赤

イシク書き

[43]

九月

[illegible]

月

七月

18

九月

十月

九月

[illegible]

同つづき「九月」の欄の途中からの文字および○の記号は鉛筆書き

[43]

④「断章」の「四十三」の草稿／詩稿「エシツクの赤き…」

〔うた〕

とまらひのうたは
まはるるうたは
まはるるうたは
まはるるうたは
まはるるうたは
まはるるうたは
まはるるうたは
まはるるうたは
まはるるうたは
まはるるうたは

ゴッホの赤き花に
うたはるるうたは
うたはるるうたは
うたはるるうたは
うたはるるうたは
うたはるるうたは
うたはるるうたは
うたはるるうたは
うたはるるうたは
うたはるるうたは

あひしと
あひしと
あひしと
あひしと
あひしと
あひしと
あひしと
あひしと
あひしと
あひしと

あひしと
あひしと
あひしと
あひしと
あひしと
あひしと
あひしと
あひしと
あひしと
あひしと

⑤「断章」の「三十九」の草稿／⑥「断章」の「四十」の草稿

〔うた〕

A Night at the opera. 1.
1/16 net
Hansen, Edward Gosse,
Visitors, Hunter,
the open, the men and his
where by Hunter,
Maggistis in Madame Justice
by Hunter, The
Jeanclasts a toff of dramatic
by Hunter.

邪宗門頭

暮春

晴暖と夕と雨

舟令と陀

少石ツカ所

針化のミエ

暗夜 (2012人
M002)

邪宗門

邪宗門頭

感覚足

来の伴巻

澤光

蝶の印象

水花

魔葉の半

赤綾結

茶和服

瞳のミヤ

青き花

黒髪

ॐ नमो भगवते वासुदेवाय ।

外 指 廣 義 和

1. The first part of the document is a letter from the author to the editor, dated 1890. It discusses the author's views on the state of the country and the need for reform. The letter is signed "A. J. A." and is addressed to "The Editor".
 2. The second part of the document is a report on the progress of the work done during the year 1890. It mentions the completion of several projects and the receipt of funds from various sources.
 3. The third part of the document is a list of names of people who have contributed to the cause. These include both individuals and organizations.
 4. The fourth part of the document is a summary of the financial accounts for the year 1890. It shows the total income and expenditure, as well as the balance carried over to the next year.
 5. The fifth part of the document is a statement of the author's personal expenses for the year 1890. This includes travel costs, living expenses, and other miscellaneous items.
 6. The sixth part of the document is a list of names of people who have been associated with the organization since its inception. This list serves as a record of the organization's history and the contributions of its members.
 7. The seventh part of the document is a concluding statement by the author, expressing his confidence in the future of the organization and his hope that it will continue to make progress in the years ahead.

$\frac{1}{\sqrt{2}} \begin{pmatrix} 1 & i \\ -1 & i \end{pmatrix}$

1940年4月

~~林有~~、~~陳永~~、~~陳永~~、~~陳永~~、~~陳永~~

